
「直腸癌に対する AI 画像診断ソフトにおける術前画像診断は有用なのか？」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検査結果を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんがやカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年1月1日から2024年8月31日の期間に【埼玉医科大学国際医療センター】を受診し直腸癌と診断され、検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

術前の CT および MRI の両方を実施し、外科医による術前診断を行われ術後に病理学的評価が行われた症例を対象とします。

AI ソフトにて画像診断にて術前診断した症例と外科医が術前診断した症例の画像診断正診率を比較検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～（西暦で）2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

直腸癌の手術の前の術前 CT、MRI 検査所見と術後病理学的評価の結果を使用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である石山泰寛が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

直腸癌と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者

消化器外科（講師） 石山泰寛

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科（担当者氏名）石山泰寛

住 所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4177（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：直腸癌に対する AI 画像診断ソフトにおける術前画像診断は有用なのか？

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 石山泰寛